

年間第十二主日

2017.6.25

マタイ 12・26-33

カトリック高円寺教会
主任司祭 吉池好高神父

今日の福音は、弟子たちを派遣するにあたってのイエスのおことばの一節です。今日の福音の直前の個所では、イエスは次のように言っておられます。「わたしはあなたがたを遣わす。それは、狼の群れに羊を送り込むようなものだ」。イエスは、ご自分の弟子たちをどのようなところに遣わすか身をもって知っておられるのです。イエスに派遣された弟子たちがどのような困難を経験することになるか知っていてくださるのです。それゆえにイエスは「人々を恐れてはならない」と弟子たちを励ましてくださるのです。人々が弟子たちの言うことを受け入れようとしなくても、たとえ迫害されるようなことがあっても、人々を恐れてはならないとイエスは言われているのです。弟子たちに必要とされていることは、イエスに託されたみことばへの信頼です。「覆われているもので現されないものはなく、隠されているもので知られずに済むものはない」のです。今はまだ人々に受け入れられなくても、イエスが弟子たちに託された福音は時が来れば、必ず現わされ、知られるようになるとイエスは保証しておられるのです。イエスのこのおことばに力づけられ、イエスに託された福音を宣べ伝える勇気の恵みを願いましょう。そのために、堅信の秘跡を受ける方々の上に豊かに聖霊の恵みが注がれるようともにお祈りいたしましょう。今回の堅信式の際に、わたしたちの共同体の上にも、聖霊の恵みが新たに注がれるよう祈りましょう。